多数派工作で押切る
難しいこんごの議会運営

既一地方選挙後初の陸別町議会（臨時第四回）は十一日午前十時十四分に開会、議会人事構成を主とした初顔合わせ議会に臨み、後六時五十分に閉会するまで、あそこの陸別いらいの波瀾議会といつた様相を呈していたが、自民党系議員や農民議員が連合して多数派工作をおこない、正・副議長や常任委員長などの主要ポストを独占しようとしたことに対する反撃が低流となつて、かつて見い察別議場の雰囲気を生みだしたもので、こんごの議会運営は難しいものになるようだ。なお六日で任期の千葉助役について再任の提案がかかつたので、十七日から助役は欠員となる。

議長に国安專次氏
山村音吉氏、副議長に

波瀾の陸別町議会

この日、議場に集まつて議員十八名が全員揃い、開会のあいさつ（橋議長）、議会事務局長から議会運営についての説明があり、特に議案についての質疑・討論・表決に至る順序について説明があり、特に議案についての質疑・討論・表決に至る順序について説明があつて、最年長議員の国安專次氏を臨時議長として紹介。

国安氏から

先の示すところにより年長の故での臨時議長だが、人間の宿命とは申せ、有難からぬ光栄と考えるとあいさつがあつて議長選挙をおこない

国安專次　十三票
荒川光重　五票

で国安氏が議長に当選。不当仮議長のその上に議長に選任され、誠に身に余る光栄である。元来トツ弁でその任でないが、多数の選任をうけたので一身を顧みず身粉骨して任期いっぱいの御協力をお願いしたいとあいさつした。

四委員会案を否決

ついで各常任委員会の構成となるのだが、議員定数が二十二名から十八名に減つているので当然に委員会条例の一部改正が必要となり山村・竹内・佐々木・中原の四議員提案によつて議議（六名）選挙

生（六名）建設（六名）の三委員会案（従前とおり）が出されたのに対して、佐藤・佐々木・自田・西野の四議員から総務（五名）文教厚生（五名）産業（四名）建設（四名）四委員会案が提出されて論議がたたかわされた。

佐藤（一）議員　産業を一本とするために四部門としたい

尾崎（亘）議員　増加の理由を具体的に示して欲しい

佐藤議員　人間には特長がある。適任適所であるべき所、産業と厚生を組んでは適任適所に欠点大

尾崎議員　そういう理由での適材適所なら五部門でも六部門でも十八部門でもいろいろことになる、それを承知で三つにしたのでないか

佐藤議員　やつてみねば判らぬ、悪ければ実績に即して変えるべきだ

林　議員　白紙的立場で、議務に文教はいい分野業と厚生はピッタリこない

西野議員　新人として思文た場合、産業は一本としたい

荒川議員　専門的にわけて人を得るのは賛成だが、議員を十八名に減らしておいて四委員会に頑やすのは時代錯誤的ではないか、自分は産業人だから厚生の方は判らないというのは個人的なもので、一般的ではない。議員は全般に通ずるべきで六人づつの三委員会が手頃と考える

半谷議員　元は一人二役だつたが今は一人一役だので、部門を纏めて三委員会が適当である

荒川議員　産業と厚生はダメで文教と厚生ならいいというが、文教も大きな仕事であり前のとおりない

はなしではないかなどの論議があつて挙手表決の結果、三委員会案に対する賛成議員十名で、四委員会案は否決された。そこで常任委員会の構成に入つたわけだが、国安議長の不馴れと議長選挙のシコリでもたつき定刻四時をすぎてようやくまとまつた。

寺尾政一氏、建設委員長に選ばれ受けず

まず各議員がそれぞれ希望する常任委員を申し出た結果

▽総務常任委員
荒川光重・寺尾政一・竹内千代蔵・自田敏夫・川初清一・松田四八

▽産業厚生常任委員
佐藤一郎・尾崎亘・半谷好松・中根勝治・国安專次

▽建設常任委員
山村音吉・佐藤大次郎・佐々木茂雄・西野一郎・林精一・松田四八

の順ぶれとなつて、はじめに総務委員長の選挙をおこない

竹内千代蔵　十一票
荒川光重　二票
寺尾政一　一票
白紙　四票

で竹内氏が当選。

産業厚生委員長の選挙では

佐藤一郎　六票
尾崎繁雄　一五票
山村音吉　一票
白紙　四票

で佐藤氏が当選。

建設委員長の選挙では

寺尾政一　八票
尾崎繁雄　四票
山村音吉　一票
林　精一　一票
白紙　三票
他事元蔵　一票

で寺尾氏が当選したのだが、その場で直ちに寺尾氏から

私は十二年間も建設委員をやつてきたのでこの際総務委員を希望している、支持されれば好意は有難いが、受けられないので次点の尾崎氏にお願いしたい

と辞退を申し出たために休憩して国安議長・山村副議長・竹内総務委員長らが別室に寺尾議員を招いて建設委員長を受諾するよう四十分間にわたつて交渉したがきき入れられず、本会議に再開して国安議長から

正副議長・総務委員長で日を改めて交渉するから建設委員長は保留としたい

と提案したのに対して尾崎繁雄議員から

日を改めて交渉して見込みがあるのかどうか

と質問すれば、当の寺尾議員は

本会議で声明したことはいかなることがあつてもひるがえさない、私は二枚舌は使わない、新たに選出して頂きたい

と発言するが、国安議長はさらに

日を改めて交渉したい

と念を押して、各常任委員会の副委員長を委員会毎に互選した結果

▽総務副委員長に自田敏夫氏
▽建設副委員長に西野一郎氏
▽産業厚生副委員長は保留

ということになつた。

つぎに臨時出納検査員二人（三名）の選挙をおこない

中根勝治　八票
竹内千代蔵　五票
川初清一　四票
松田四八　四票
荒川光重　三票
西野一郎　三票
林　精一　三票
尾崎繁雄　三票
半谷好松　三票
松田国雄　三票
安藤　亘　一票
国安專次・山村音吉・佐藤大次郎・寺尾政一　各一票

で、松田氏が辞退して上位三氏に決定。

ものたりない
尾崎亘氏、監査委員ことわる

分の二に、資産割を百分の二十八に、均等割を百七十六円に、世帯割を八百十七円に改めようとするもので、そう問題もなく議決。

このあと役場倉庫建築について左上程、三百の臨議会で三十六万円の予算議決を経てあるのだが、場所・構造・付属施設などの平面図を添えて建築執行の議決を求めたもので、場所は役場庁舎裏、構造は木造二階建十二坪、階下は布コンクリート土間階上はフローリング張りの書庫となつているものの、工事の設計・仕様書ができていないことから寺尾議員が、アヤフヤな提案に対して無責任な議決はできないと主張したために

▽総務副委員長に自田敏夫氏
▽建設副委員長に西野一郎氏
▽産業厚生副委員長は保留

ということになつた。

つぎに臨時出納検査員二人（三名）の選挙をおこない

中根勝治　八票
竹内千代蔵　五票
川初清一　四票
松田四八　四票
荒川光重　三票
西野一郎　三票
林　精一　三票
尾崎繁雄　三票
半谷好松　三票
松田国雄　三票
安藤　亘　一票
国安專次・山村音吉・佐藤大次郎・寺尾政一　各一票

で、松田氏が辞退して上位三氏に決定。

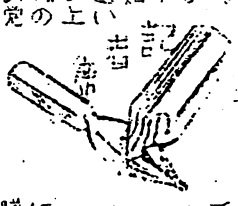
議場の模様

A　これまでの陸別町は新にコタクのない方だつたが十一回の初議会は様相を一変したのかな

B　知　白紙

A　議長問題が結論の点にはるわけだが

B　国安サンほどの人であればどこの町村でも議長の格だろうが、陸別の場合は特



A　議長問題が結論の点にはるわけだが

B　国安サンほどの人であればどこの町村でも議長の格だろうが、陸別の場合は特

A　議長問題が結論の点にはるわけだが

B　国安サンほどの人であればどこの町村でも議長の格だろうが、陸別の場合は特

シコリ残した議長選挙

に荒川サンという十勝管内きつての名議長がいてしかも長令でもなくハリきつて再び出てきたのに多数派工作で阻んだということは、何のためかは知らんがまづかつたナ

A　詳しく記者席も四社揃つていたがかつカリしていたヨ

B　荒川サンの議長ぶりというものは管内でも定評があり、町村議会の水準を引上げる意味では陸別町だけの存在ではなく管内的に注目されていただけ一期で幕引きなるのは惜しいと思うナ

A　寺尾サンの建設委員長辞退、尾崎サンの監査委員辞退というのも、そうしたことに対する抵抗ということになるのかネ

B　まあ、そうだやないかナ、任完を組んで勝手なことをやるならやつてみろとケツをまくつてみせたのかやないか

A　しかし発言力の強い荒川サン・寺尾サン・尾崎サンあたりをヒラにしておいての議会はこんごどうなるだろう

B　担当にキビシイ傍聴者となるのではないか、町民のためには結構なことだが、国安議長サンは担当勉強しないとキリく舞いさせられるオソレはあるナ

A　おそらくこの四年が引退の花道とみられている工藤サンは荒川サンという強力な対抗馬があるのだから、議長問題が結論の点にはるわけだが

B　国安サンほどの人であればどこの町村でも議長の格だろうが、陸別の場合は特

工藤町長
公民館の倉庫建築

町長にしても、予期しない波瀾の町議会に面喰らつているのかやないか

B　議員のみるところ議長は荒川サンというのが常識だつたのだけに一種のクーデターとみられている。それだけに四年後の次期町長選にも関連するのではないかとカンぐられているのだが、町議会内に対立する派閥をつくつたというのことにはなつたようだナ

B　四年後のことより今が大事なんだヨ

A　次期町長選に無投票はあり得ないということだネ

B　四年後のことより今が大事なんだヨ

A　寺尾サンの建設委員長辞退、尾崎サンの監査委員辞退というのも、そうしたことに対する抵抗ということになるのかネ

B　担当にキビシイ傍聴者となるのではないか、町民のためには結構なことだが、国安議長サンは担当勉強しないとキリく舞いさせられるオソレはあるナ

A　おそらくこの四年が引退の花道とみられている工藤サンは荒川サンという強力な対抗馬があるのだから、議長問題が結論の点にはるわけだが

B　国安サンほどの人であればどこの町村でも議長の格だろうが、陸別の場合は特

尾崎亘氏、監査委員ことわる

分の二に、資産割を百分の二十八に、均等割を百七十六円に、世帯割を八百十七円に改めようとするもので、そう問題もなく議決。

このあと役場倉庫建築について左上程、三百の臨議会で三十六万円の予算議決を経てあるのだが、場所・構造・付属施設などの平面図を添

役場倉庫建築

荒川議員　建てることには賛成だが資料が揃つていないので寺尾氏から強く指摘されているが、町長はこんご注意するということなので私は了承する

佐藤一郎議員　町長は緊急なものならばすでに設計ができていなければならない、公民館の倉庫がいまつぶれるわけではなく、一カ月やニカ月待てないというものではない、とにかくどんなものを建てるのか判らず議決するわけにはゆかない

などの論議があつて、寺尾議員の「誰もが納得できる設計・見積りであること」を条件に議決した。

最後に監査委員の選任となつたが、議員中より町長が選んで議会の同意を求めることになるのだが、工藤町長は前期に続い議会からの推薦を求めたので、選挙という声もあつたが荒川議員から「議長が各議員の意向をまとめて町長と相談してはどうか」と提案、国安議長は議場をひとまわりして前監査委員の尾崎亘議員にとまつたのだが、「監査委員は同じものが何年もやるべきものではない」として尾崎議員がこれまたうけないので、保留にして総務委員会には託することになり、午後六時五十分に閉会した。

このあと工藤町長から就任のあいさつがあり、初議会せの懇親会は、寺尾議員や尾崎亘議員などの意見によつて料理屋を避けることになり、会議室のその場でのささやかな小宴がひらかれた。